

世の中、アフターコロナですね。釧路湿原周辺にも多くの旅行者がいらしてます。仕事で敷こぎしているこちらもなんだかワクワクします。

コロナ禍中の休日は、自宅の庭の草むしり。植えた覚えのない花が咲く野草園では、ササが密生して大変ですが達成感を得られます。釧路町の森林に近い我が家の敷地には、エゾシカが野菜や花を食べにやって来ます。昼間もシカが悠々と歩く

のはここ数年のことです。釧路湿原でもいつでもシカを見かけるようになりました。一方でよく見ていた植物はシカの影響から少なくなり、咲き誇る場所は残念ながら今はほぼ皆無。シカについては個体数管理、希少植物の保全(特に高層湿原の植生保護)、崩壊する河岸の保全と、対策が進められていますが、広大な釧路湿原ではちょっとずつしか手を施せません。「出来ることしか出来ないよ」という上司の言葉を思い出します。大学卒業後に当社に入り環境調査という業種を知りました。当時、対象の生物について勉強不足の上、保全も復元も手探りで、常に技術不足を感じました。以来、漠然と地域の生きものの役に立ちたいと思ってきました。人間側の折り合いの付け所が大事ということもわかってきました。

うちの庭でネットを立ててシカの影響を排除してはや3年。食害がなくなりシカの嗜好について庭で得られていた貴重な情報は減りましたが、マダニもいなくなり安全快適です。今では森林公園の林床よりも春植物が多く咲き、嬉しいような残念なような。

これからも研鑽を積み、出来ることを工夫して実践し、そのことで釧路湿原の植物が咲き誇る景色を皆さんに楽しんでもらえる未来に繋がると嬉しいです。

田村 由紀(たむら ゆき)

●環境部門(自然環境保全)

勤務先

環境コンサルタント株式会社



→次号は、神谷雄一郎さん(建設部門)

私は1985年に札幌市で生まれ、幼少期から現在に至るまで札幌で過ごしています。私は大学卒業後、ほんの軽い気持ちで道路設計をしてみたいと思い、建設コンサルタント会社に就職しました。入社し始めた頃は、上司の仕事の一部を担い、設計図・数量計算書の作成等に從事していましたが、膨大な設計図があり、それらの利用目的や内容、作成の仕方を把握するのに苦戦していたのが今で

も懐かしいです。やがて時は経ち、業務の多くの部分を任されるようになりました。私は主に道路設計・施工計画・附属物点検の業務を担ってきました。業務の主担者として従事するようになった頃から私は、技術士資格に興味を抱き、資格取得に向きあうようになりました。先輩技術士たちが業務の頭になり、自信を持って業務を振舞っている姿を見て、私も同じような技術者になりたいと感じ、技術士取得を目指しました。まず、第一関門である一次試験に挑み、3回目で合格し、二次試験も同様に3回目で合格し、晴れて2019年(平成31年3月)に技術士を取得できました。(元号が平成のうちに技術士取得できたことは嬉しかったです!)ここに至るまで、色々な方々に指導して頂いて、感謝の気持ちでいっぱいです。資格取得後は、様々な業務を一式任されるようになり、日々困難な課題等に直面しています。(苦笑)苦しいながらも、技術者として僅かながら日々成長していると感じており、今日に至ります。

私は技術者としてまだまだ未熟ではありますが、今後も自己研鑽し、技術の向上に努めたいと思います。また、同時に私より年齢の若い技術者を育成し、技術の伝承をしつつ、我が国の公共事業を一助できるよう努めて参りたい所存です。

筒井 亮(つつい りょう)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社東亜エンジニアリング



→次号は、黒澤彰信さん(建設部門)